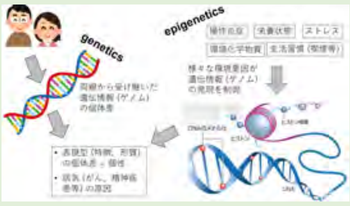
カテゴリー	生命医科学からの学び	モジュール科目区分	教養モジュールⅡ
テーマ名	23-b8　コミュニケーションに重要な感覚器を学ぶ		
対象学部	医学部保健学科・歯学部・情報データ科学部・工学部・環境科学部		
テーマ責任者	熊井　良彦	責任部局	医学部医学科
趣　旨	ヒトを含む生体は生きていく上で、様々な刺激を受けとりそれに対して反応する。 古代アリストテレスはヒトが外界を感知する感覚機能を５つに分類した。すなわち視覚、聴覚、嗅覚、味覚、触覚の五感である。現在ではヒトの感覚はもっとあり、細かく分類すると２０以上あると考えられているが、これらの五感はコミュニケーションにとって非常に重要であり、ヒトの生活の質（QOL）を決める重要な要素である。本テーマでは五感の仕組みや疾患との関連性、どのような障がいを受ける危険性があるか、また障がいを受けた場合どのようなハンディキャップを生じるかを考えていく。障がいから回復するような治療が行われ成果をあげているが、一方で、障がいが残る場合も多い。人間の叡智はハンディキャップを様々な方法で乗り越えてきたが、その過程・方法を一緒に考えていきたい。		
プラネタリーヘルスとの関連性	感覚器の形態や機能から生物の多様性についての洞察を深める。	説明動画	
学生の皆さんへのメッセージ	ヒトのからだは驚くべき精密さでいろいろなものを感知し、反応していきます。 みなさんと一緒にヒトの感覚について学び、その障がいとどのようにそのハンディキャップを補うか考えていきましょう。この思考過程はあらゆる問題解決に共通していきます。		

科　目　名	担当者名	概　　要	キーワード	プラネタリーヘルスとの関連性の有無
「視覚の科学」を学ぶ	大石　明生 北岡　隆 築城　英子 上松　聖典 井上　大輔 草野　真央 原田　史織 宮城　清弦	カンブリア紀に眼を持つ生物が爆発的に増え、多様性を持ってきた。本授業では生物の視覚器の発生からはじまり高度に発達した眼までの構造と機能をみていく。また視覚を脅かす病気やケガ、そしてそのために生じる「障がい」を概説する。さらに障害で生じたハンディキャップを補う方法を自ら考えてもらう。	眼の発生 眼の構造と機能 眼の障がい ロービジョンケア	○
重要な耳鼻咽喉科学（聴覚・嗅覚・味覚）を学ぶ	熊井　良彦 西　秀昭 木原　千春 佐藤　智生	耳鼻咽喉・頭頸部領域は、聴覚・嗅覚・味覚・平衡覚に関わる感覚器や、摂食・嚥下、また人間が人間らしく生きる上で重要な音声・言語といった機能をつかさどる臓器を含んでいる。この領域の疾病や外傷によりこれらの機能は障がいされうるが、それに対する対応や機能回復の過程につき概説し、その障がいのもつ社会的問題点につき考えてもらう。	聴覚、嗅覚、味覚、平衡覚、摂食、嚥下、音声、言語、頭頸部外科、機能障害	○

教養モジュールの目標および授業編成の視点との対応	目標										※授業編成の視点	
	① 知識・技能	② 主体性	③ 情報リテラシー	④ 論理的組み立て	⑤ 批判的検討	⑥ 倫理観	⑦ 多様性の理解	⑧ 協働性	⑨ 考えをやり取りする力	⑩ 国際・地域社会への関心	A 人文科学の内容を取り扱う	B 社会科学の内容を取り扱う
「視覚の科学」を学ぶ	◎	○	○		○	○	◎		◎	○	○	○
重要な耳鼻咽喉科学（聴覚・嗅覚・味覚）を学ぶ	◎	○	○		○	○	◎	◎	○	○		
◎（特に重視）の数	2	0	0	0	0	0	2	1	1	0	0	0
○（重視）の数	0	2	2	0	2	2	0	0	1	2	1	1

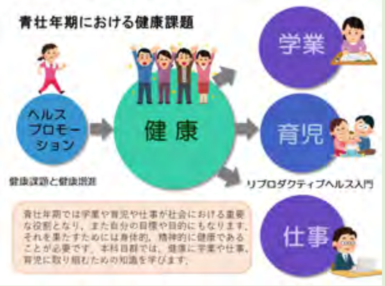
※工学部・水産学部に係るJABEE項目

カテゴリー	生命医科学からの学び	モジュール科目区分	教養モジュールⅡ
テーマ名	23-b9　ジェネティックス？エピジェネティックス？？それって何？		
対象学部	医学部保健学科・歯学部・情報データ科学部・工学部・環境科学部		
テーマ責任者	森内　浩幸	責任部局	医学部医学科
趣　旨	ゲノムDNAに記録されている遺伝情報を基にして、私たちの身体が作られ機能していく。その仕組みを研究する学問が遺伝学（ジェネティックス）である。でも同じ遺伝情報であるにもかかわらず、私たちの身体の作りや働きが異なってくることがある。遺伝情報の変化を伴わないのに、受け継がれていく特徴を研究する学問がエピジェネティックスである。私たち一人一人の個性を作り、また病気にも関係する仕組みをジェネティックスとエピジェネティックスの両面から考えて行きたい。		
プラネタリーヘルスとの関連性		説明動画	
学生の皆さんへのメッセージ	ジェネティックス？エピジェネティックス？？既に学生の皆さんの頭の中にはたくさんの「？」マークが浮かんでいるかも知れません。私たちヒトと他の生物との違いを作り、そして私たちヒト同士の個性を作り、そしてそれが世代から世代へと受け継がれるのは、ゲノムの遺伝情報の違い・変化に依ります（それを調べる学問がジェネティックス）。さらに遺伝情報には変化が起こっていないのに、私たちの身体の作りや機能に新たな変化が生じ、それが受け継がれることもあります（それを調べる学問がエピジェネティックス）。そしてそういう変化が病気の原因にもなるのです。この科目では総論的な概念と、各論的な病気の話を致します。		

科　目　名	担当者名	概　　要	キーワード	プラネタリーヘルスとの関連性の有無
ジェネティックスとエピジェネティックスと私達の健康	森内　浩幸 伊達木　澄人 今村　明 古里　文吾 下﨑　康治	遺伝情報そのもの、または遺伝情報の発現のコントロールの違いや変化がもたらす病気の具体的な例を挙げて、私たちの健康に及ぼす影響を理解する。	インプリンティング関連疾患、発がん、精神疾患、プリオン、一卵性双生児	
ジェネティックスとエピジェネティックスの違い	吉浦　孝一郎 木住野　達也 伊達木　澄人 池田　裕明	ゲノムの遺伝情報の違いや変化が人の個性を作り、それが次の世代に受け継がれること、そして遺伝情報の変化が起こっていないのに違いが生じ、しかもそれが受け継がれる仕組みと意義を学ぶ。	ゲノム、遺伝情報、エピジェネティックス、環境因子	

教養モジュールの目標および授業編成の視点との対応	目標										※授業編成の視点	
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	A	B
	知識・技能	主体性	情報リテラシー	論理的組み立て	批判的検討	倫理観	多様性の理解	協働性	考えをやり取りする力	国際・地域社会への関心	人文科学の内容を取り扱う	社会科学の内容を取り扱う
ジェネティックスとエピジェネティックスと私達の健康	◎		○	○		◎	◎		○		○	◎
ジェネティックスとエピジェネティックスの違い	○		○	◎		◎	◎		○		○	◎
◎（特に重視）の数	1	0	0	1	0	2	2	0	0	0	0	2
○（重視）の数	1	0	2	1	0	0	0	0	2	0	2	0

※工学部・水産学部に係るJABEE項目

カテゴリー	生命医科学からの学び	モジュール科目区分	教養モジュールⅡ
テーマ名	23-b10　青壮年期における健康課題		
対象学部	医学部医学科・歯学部・情報データ科学部・工学部・環境科学部		
テーマ責任者	永橋　美幸	責任部局	医学部保健学科
趣　旨	健康とは単に病気がないという状態ではなく、身体的・心理的・社会的・霊的に安寧な状態をいう。また健康課題を考えるとき病気や障害があってもその人がその人らしく生きられ、社会全体が共に生きる（共生）という視点が重要である。 そのためにモジュールⅡではモジュールⅠを基礎として、ライフサイクルの中でも特に青壮年期における基本的な健康課題と健康増進さらに結婚、妊娠、出産、育児を含めたリプロダクティブヘルスに関する健康課題について教授する。		
プラネタリーヘルスとの関連性	次世代に向けて、リプロダクティブヘルス（性と生殖に関する健康）に関する健康課題からプラネタリーヘルス（地球の健康）を考える。 次世代、リプロダクティブヘルス、プレコンセプション、性感染症、避妊、SDGs	説明動画	
学生の皆さんへのメッセージ	前提知識は特に問いませんが、自身の健康増進や結婚、妊娠、出産、育児を含めたリプロダクティブヘルスに関心がある方、ほかの人と協働して学習を進めていくことに関心がある方を歓迎します。特に本カテゴリーでは、教室内における参加型学習やフィールドワークを取り入れますので、知識や技術を主体的に学び、今の生活や将来に役立ててほしいと思います。		

科　目　名	担当者名	概　　要	キーワード	プラネタリーヘルスとの関連性の有無
健康課題と健康増進	田中　貴子 西　祐樹 古川　美和 富永　ちはる	青年期にある大学生にとっての健康とは何かを学び、健康、体力増進のためのトレーニング、メンタルヘルス、食生活等について学び、自身の健康について考える。	健康、体力、食生活、メンタルヘルス	
リプロダクティブヘルス入門	永橋　美幸 神徳　備子 上野　美穂	結婚、妊娠、出産、育児を含めたリプロダクティブヘルスに関する健康課題について学び、自らの課題として解決方法を考え、自分自身の健康につなげる。	リプロダクティブヘルス、プレコンセプション、結婚、妊娠、出産、育児	○

教養モジュールの目標および授業編成の視点との対応	目　　標										※授業編成の視点	
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	A	B
	知識・技能	主体性	情報リテラシー	論理的組み立て	批判的検討	倫理観	多様性の理解	協働性	考えをやり取りする力	国際・地域社会への関心	人文科学の内容を取り扱う	社会科学の内容を取り扱う
健康課題と健康増進	◎	◎	◎		○			○	○		○	○
リプロダクティブヘルス入門	◎	◎	◎				○	○	○	○	○	○
◎（特に重視）の数	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
○（重視）の数	0	0	0	0	1	0	1	2	2	1	2	2

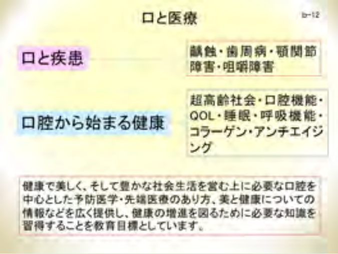
※工学部・水産学部に係るJABEE項目

カテゴリー	生命医科学からの学び	モジュール科目区分	教養モジュールⅡ
テーマ名	23-b11　口腔健康管理と審美		
対象学部	医学部医学科・医学部保健学科・情報データ科学部・工学部・環境科学部		
テーマ責任者	佛坂　斉祉	責任部局	歯学部
趣　旨	現代社会は技術と情報化が進歩し、人々に便利で快適な生活提供していますが、一方で、種々の問題を抱えています。現代社会の急激な変化に適応できず、人々は様々なストレスを抱え、それは徐々に大きくなり、知らず知らずのうちに、健康と機能美に悪影響を及ぼしています。そこで、安全な食品、病気の予防や健康などに対応する社会的要望は世界的に高まっています。 健康とは、身体と精神が健全であり、それがさらに社会的に調和のとれた状態のことです。また、「美しさ」は、外見だけではなく、心と身体の健康があって初めて成り立つものです。真の意味で美しく健康に生きるためには、食・心・健康・美を総合的に捉えていくことが必要です。 このような背景を受け、豊かな社会生活を営む上に必要な「食育、口腔予防医学、機能健康美」についての情報を広く提供し、健康増進法を習得するための知識を活用することを教育目標としています。		
プラネタリーヘルスとの関連性	多様な生物の食が互いの生物間に関わり、ひいては生態系に及ぼす影響を学ぶ。 キーワード：生物の多様性、生態系	説明動画	
学生の皆さんへのメッセージ	「食」「美」「健康」に広い興味や関心のある人、大歓迎です。細胞生物、ストレス、予防医療、審美、老化に関わる基本的知識から専門的知識の習得を目指して、教員たちとコミュニケーションを図りつつ、他の学生さんと協働して学習を進めていきましょう。		

科　目　名	担当者名	概　　要	キーワード	プラネタリーヘルスとの関連性の有無
審美	尾立　哲郎 平　曜輔 右藤　友督 江越　貴文 田上　直美	美とは何か、その歴史、およびその表現についての理解を深め、美に関わる医療を学ぶことによって、ＱＯＬ（クォリティ・オブ・ライフ）の向上に役立てる。	美学・審美歯科・ホワイトニング・顔面形態異常	
食の科学	川下　由美子 五月女　さき子 久松　徳子 佛坂　斉祉	食べることは生きる事そのものである。「口腔と歯」は生きる事の入り口である。食に関連した人体の構造、機能とその疾患について、また栄養学的、予防医学的な観点から教養を深める。	摂食嚥下機能・栄養・メタボリックシンドローム・予防医学・様々な生物の食	○

教養モジュールの目標および授業編成の視点との対応	目　　標										※授業編成の視点	
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	A	B
	知識・技能	主体性	情報リテラシー	論理的組み立て	批判的検討	倫理観	多様性の理解	協働性	考えをやり取りする力	国際・地域社会への関心	人文科学の内容を取り扱う	社会科学の内容を取り扱う
審美	◎	◎		○	○	◎	○		○	○	○	○
食の科学	○	○		○		◎	○		◎		◎	○
◎（特に重視）の数	1	1	0	0	0	2	0	0	1	0	1	0
○（重視）の数	1	1	0	2	1	0	2	0	1	1	1	2

※工学部・水産学部に係るJABEE項目

カテゴリー	生命医科学からの学び	モジュール科目区分	教養モジュールⅡ
テーマ名	23-b12　口と医療		
対象学部	医学部医学科・医学部保健学科・情報データ科学部・工学部・環境科学部		
テーマ責任者	村田　比呂司	責任部局	歯学部
趣　旨	健康で美しく、そして豊かな社会生活を営む上に必要な口腔を中心とした予防医学・先端医療のあり方、美と健康についての情報などを広く提供し、健康の増進を図るために必要な知識を習得することを教育目標としています。科目は2つ設置し、「口と疾患」では齲蝕、歯周病、顎関節障害、咀嚼障害などについて、「口腔から始まる健康」では口腔機能、QOLと口腔の関係、医療現場の課題に対するAIによる解決法、コラーゲン、アンチエイジングなどについて、それぞれアクティブラーニングを含んだ学習を行います。みなさまの健康増進にも役立つ授業です。		
プラネタリーヘルスとの関連性	歯を含めた健全な口腔機能は、全身の健康に貢献します。そしてこの概念と実践は世界の人々のQOLの向上と健康寿命の延伸に寄与します。	説明動画	
学生の皆さんへのメッセージ	口腔や歯科に関する知識は全く問いません。「口腔と医療」に興味や関心のある方、大歓迎です。口腔を中心とした予防医学・先端医療、健康に関する基礎的知識から専門的知識の習得を目指して、担当の教員たちとコミュニケーションを図りつつ、他の学生さんと協働して学習を進めていくことに関心のある方は、ぜひ受講してください。		

科　目　名	担当者名	概　　要	キーワード	プラネタリーヘルスとの関連性の有無
口と疾患	鳥巣　哲朗 吉村　篤利 柳口　嘉治郎	顎関節障害、咀嚼障害、齲蝕、歯周病などの口の疾患の原因と症状、治療法、予防法について理解し、口の健康維持について必要な知識を健康増進に活かす。	顎関節障害・咀嚼障害・齲蝕・歯周病	○
口腔から始まる健康	村田　比呂司 山田　志津香 玉田　泰嗣	超高齢社会に対応する義歯による口腔機能の回復、医療現場の課題に対するAIによる解決法等について学ぶ。また、加齢に伴う歯槽骨のコラーゲンの質の変化とその機序を知り、生涯健康な歯や骨を維持するための知識を習得する。	超高齢社会・口腔機能・QOL・AI・コラーゲン・アンチエイジング・長崎県	○

教養モジュールの目標および授業編成の視点との対応	目　標										※授業編成の視点	
	① 知識・技能	② 主体性	③ 情報リテラシー	④ 論理的組み立て	⑤ 批判的検討	⑥ 倫理観	⑦ 多様性の理解	⑧ 協働性	⑨ 考えをやり取りする力	⑩ 国際・地域社会への関心	A 人文科学の内容を取り扱う	B 社会科学の内容を取り扱う
口と疾患	○	◎		○	○		○	○	○		○	○
口腔から始まる健康	○	◎	○	○	○	○		○	○	○	○	○
◎（特に重視）の数	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
○（重視）の数	2	0	1	2	2	1	1	2	2	1	2	2

※工学部・水産学部に係るJABEE項目